

4 事業所と関係機関との連携について

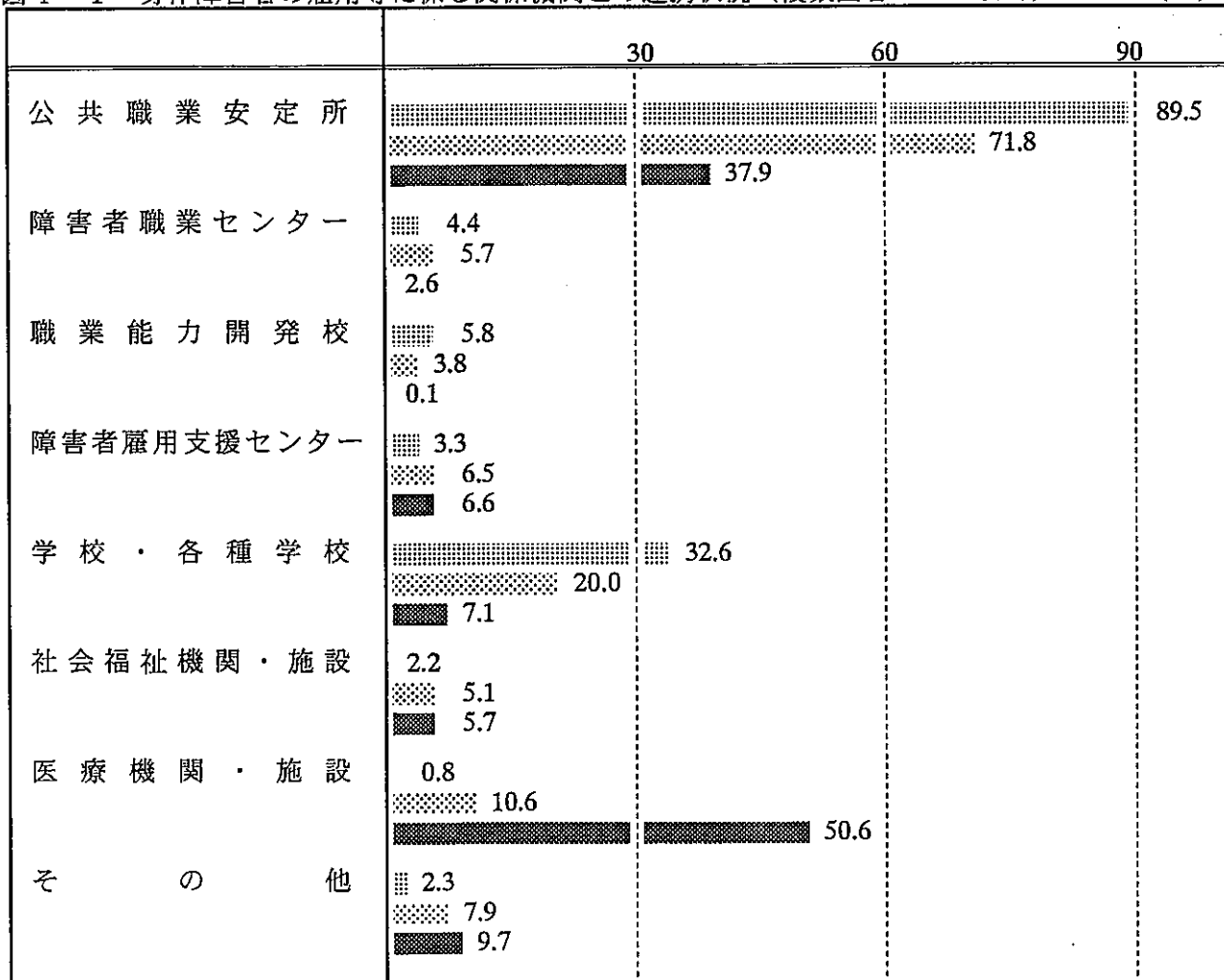
(1) 身体障害者

イ 関係機関との連携状況

身体障害者を募集・採用する際に、関係機関を利用したり、又は協力を求めたことのある事業所は全体の 39.2 %、雇用継続や職場定着に関する利用は 17.6 %、職場復帰に関する利用は 11.1 %であった。雇用後に比べ雇用前の方がより多く関係機関を利用している。

雇用前の利用状況を連携機関別に見ると、公共職業安定所 89.5 %、学校・各種学校が 32.6 %と多くなっている。雇用後も公共職業安定所、学校を利用する割合は高くなっているが、職場復帰に関しては、医療機関・施設との連携が 50.6 %と高くなっており、採用後身体障害者となった従業員の職場復帰にあたっては、職業安定機関とともに多くの事業所が医療機関と連携を図っている。

図 4-1 身体障害者の雇用等に係る関係機関との連携状況（複数回答：2つまで）（%）



（利用したことがある＝100）

- （注）
- （点線）は募集・採用の際を示す。
 - （斜線）は雇用継続・職場定着の際を示す。
 - （黒塗り）は職場復帰の際を示す。